

毎月
発行

認知症に関する情報紙

オレンジ



ガイド

第8号
R4.11月

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して～



若年性認知症について

～高齢でなくても認知症になることがあります～



認知症は一般的に高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症することもあります。65歳未満で発症した認知症のことを『若年性認知症』と言います。全国の若年性認知症の人数は、約3万5,700人と推計されています。

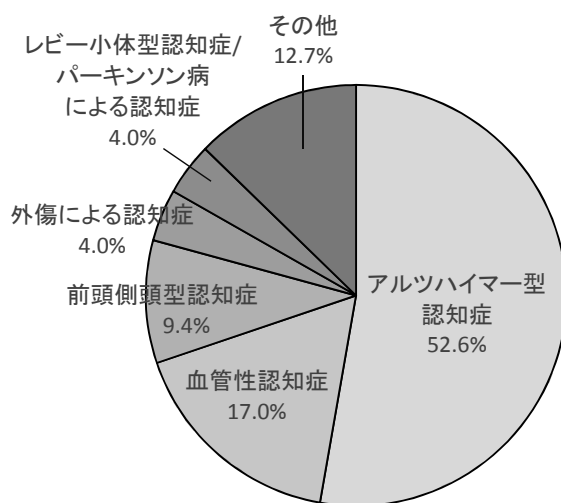
若年性認知症は働き盛りの世代で発症します。しかし、発症後、若年性認知症だと思わずに、うつ状態や疲れ、更年期障害など他の病気と思い込んで生活を続けてしまい、病院への受診が遅れて、認知症の発見が遅くなる場合があります。

早く気付いて対応を始めれば、認知症の進行を遅らせることができる場合もあります。また、将来のことや財産管理など、家庭内の重要なことを家族と話し合ったり、早い段階で決めたりすることもできます。

そのため早期発見・早期対応がより一層重要となります。

(裏面に引き続き内容を掲載していますのでご覧ください。)

【若年性認知症の原因となる疾患】



※参考「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多元的データ共有システムの開発」(令和2年3月)

ためして 脳トレ！

問題：ひらがなを並べ替えて単語を完成させましょう！

例) ○△□× → △×□○

- | | |
|---------|-----------|
| ①まなつこ | ⑥うしとろこも |
| ②むけごし | ⑦たんけでわいい |
| ③んんめせき | ⑧どこそろうく |
| ④りずないし | ⑨んうけだんこんし |
| ⑤えろんついび | ⑩びんばうごうんゆ |

※答えは裏面にあります。

いつでも 脳トレ！

早口言葉に挑戦しよう！ 隣の客はよく柿食う客だ

声を出して繰り返し読むことで、聴覚も刺激され、脳の活性化が期待されます。

若年性認知症の特徴

▶ 発症年齢が若い

発症年齢の平均は54歳。

▶ 男性に多い

女性が多い高齢者の認知症と違い、男性が女性より少し多くなっています。

▶ 経済的な問題が大きい

働き盛りの年齢の方が多く、休職や退職により、経済的に困窮する可能性があります。

▶ 家庭内での課題が多い

夫婦間の問題、子どもの養育、教育、結婚など、親が最も必要とされる時期に認知症になる、あるいは介護を受ける立場になることは、家庭内にさまざまな課題が出てきます。

▶ 介護の問題

発症年齢が若いために配偶者が介護者になることが多く、高齢の親が介護者になることもあります。また、高齢の親への介護と重なる場合などには、介護負担がさらに大きくなります。

認知症の初期にみられる症状

- | | |
|--|---|
| ☐ 仕事のミスが増えた | ☐ 同じことを何度も話す・聞く |
| ☐ 運転のミスが増えたり、事故を起こした | ☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった |
| ☐ 慣れた道でも迷うことがある | ☐ 物の置き場所が思い出せず、探し物が増えた |
| ☐ 家電製品の使い方が分からなくなった | ☐ 些細なことでイライラしたり、怒りっぽくなった |
| ☐ 家事などのよく慣れた作業手順を忘れてしまう | ☐ 趣味や好きなことに興味を示さなくなった |
| ☐ 買い物に行って同じ物を何度も買う | ☐ 身だしなみをかまわなくなった |

認知症かもしれないと思ったら、本人や家族だけで抱え込まずに、まずは、かかりつけ医や職場の産業医、伯耆地域包括支援センターにご相談ください。

もの忘れ検診を受けましょう

伯耆町では、50歳以上の住民の方を対象に、無料で「もの忘れ検診」を行っています。申し込み後、受診がまだお済みでない方はお手持ちの受診券を確認し、町内の協力医療機関にご予約の上、受診してください。

なお、なかむら医院は、10月末でもの忘れ検診が終了となります。なかむら医院での受診を希望されていた方は、他の医療機関をご案内しますので、健康対策課へご相談ください。

また、申し込みがまだの方で受診を希望される方は、健康対策課へご連絡ください。

【認知症や高齢者の相談窓口】

伯耆地域包括支援センター

TEL0859-68-4632

伯耆町健康対策課 生活相談室

TEL0859-68-5535

表面 **ためして 脳トレ!** の答え

- ①こまつな ②けしごむ ③せんめんき ④いなりずし ⑤いろえんぴつ ⑥とうもろこし ⑦けいたいでんわ
⑧こうそくどうろ ⑨けんこうしんだん ⑩ゆうぴんばんごう